

令和元年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019002

プロジェクト名 日大出身の社長に突撃取材～学生のあれこれに答えて下さい～

プロジェクトの概要

日本の新卒社員の3年以内に離職する割合は約3人1人。こんなデータがある。就職活動の時期になると、「やりたいことがない」と声をもらし、悩んでしまう学生も多い。理由は大学ではアカデミックな学びは可能だが、働くうえで必要な「生産者の視点」を学ぶ機会はほとんどないだろう。生産者の視点とは、「誰のどんな課題を、どのように解決していきたいか」というものである。これらの状況を解決するために、ビジネスの最前線に立っている日大出身の社長にインタビューを行い、その想いを学生に届けることを決意した。結論として、各々の学生が望むファーストキャリアを選択できるようにすることを目標にした。

プロジェクトの結果・成果

企業との接点を創出するために、10社程度にコールをかけ、結果6社のアポイントメントを獲得できた。日本大学の学生だからこそ、インタビューを許諾してくれた企業もあったので、同じ日大という繋がりを感じることもできた。

そして、プロジェクトの成果は大きく分けて2つある。1つ目が就活に関連する情報で、客観的なものを学生に届けられたことである。世の就活生が触れる情報は、エビデンスが曖昧であったり、過度に一般化されたものなどの場合が多い。なぜならば情報の発信者が、社会経験がない学生に対して、都合の良い情報しか流さないからである。2つ目が、大学の学びだけでは教えられない、人の価値観や考え方・生き方を反映している冊子にできたことだ。長い人生の一部として大学時代を捉えた場合、立場や価値観の違う人の「考え・想い」に触れられた回数が、自分なりの幸せに気付けることに繋がると考えている。それを実際の形として冊子にでき、大変良かったと思う。

活動写真

